

令和2年度 学校生活相談センターの相談状況について（2月末現在）

心の支援課

資料2

◆件数・回数の同期比較◆

	前年度 (～2月末)	→	本年度 (～2月末)	
相談件数	781件	→	771件	(10件 減)
延べ回数	1516回	→	1205回	(311回 減)

1 相談の形態

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合	
電話	平日昼間	297	38.5%	486	40.3%
	夜間・休日	384	49.8%	592	49.1%
(メール・FAX・手紙)	88	11.4%	124	10.3%	
来所	2	0.3%	3	0.3%	
計	771	100.0%	1205	100.0%	

2 相談者の内訳

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
子ども	269	34.9%	435	36.1%
本人	261	33.9%	422	35.0%
本人以外の子ども	8	1.0%	13	1.1%
大人	486	63.0%	754	62.6%
父	68	8.8%	86	7.1%
母	322	41.8%	525	43.6%
祖父	5	0.6%	9	0.8%
祖母	26	3.4%	35	2.9%
その他の大人	65	8.4%	99	8.2%
不明	16	2.1%	16	1.3%
計	771	100.0%	1205	100.0%

3 相談対象者の性別

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
男	313	40.6%	474	39.3%
女	318	41.2%	562	46.7%
不明	140	18.2%	169	14.0%
計	771	100.0%	1205	100.0%

4 連携した案件

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
関係機関へ連携した案件	38	4.9%	75	4.9%

主な連携先（延べ回数）

小中学校（私立含む）	… 18回	警察関係	… 0回
高等学校（私立含む）	… 32回	児童相談所	… 1回
県教育委員会（教育事務所含む）	… 9回	こども・家庭課	… 0回
市町村教育委員会	… 6回	私学振興課	… 3回

5 相談の主訴（全体）

区分		相談件数	割合	延べ回数	割合
子どもに 関すること	いじめ・嫌がらせ	62	8.0%	84	6.9%
	不登校・登校渋り	106	13.7%	195	16.2%
	その他	164	21.4%	272	22.5%
学校・教師に関すること		155	20.1%	237	19.7%
家庭・私生活に関すること		97	12.6%	161	13.4%
意見・問い合わせ		146	18.9%	179	14.9%
その他		41	5.3%	77	6.4%
計		771	100.0%	1205	100.0%

(1) 主訴（子どものみ）

区分		相談件数	割合	延べ回数	割合
子どもに 関すること	いじめ・嫌がらせ	19	7.1%	26	6.0%
	不登校・登校渋り	16	5.9%	36	8.3%
	その他	107	39.8%	198	45.5%
学校・教師に関すること		48	17.8%	60	13.7%
家庭・私生活に関すること		45	16.7%	60	13.8%
意見・問い合わせ		18	6.7%	22	5.1%
その他		16	6.0%	33	7.6%
計		269	100.0%	435	100.0%

(2) 主訴（大人のみ）

区分		相談件数	割合	延べ回数	割合
子どもに 関すること	いじめ・嫌がらせ	42	8.7%	57	7.6%
	不登校・登校渋り	90	18.5%	159	21.1%
	その他	56	11.5%	73	9.7%
学校・教師に関すること		106	21.9%	176	23.3%
家庭・私生活に関すること		52	10.6%	101	13.4%
意見・問い合わせ		119	24.5%	148	19.6%
その他		21	4.3%	40	5.3%
計		486	100.0%	754	100.0%

6 相談対象者の学校区分

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合	
就学前	12	1.6%	14	1.2%	
小学生	小学生（低学年）	59	7.7%	88	7.3%
	小学生（高学年）	95	12.3%	141	11.7%
	小学生（不明）	16	2.1%	16	1.3%
	中学生	186	24.1%	277	23.0%
高校生	299	38.8%	493	40.9%	
その他	69	8.9%	130	10.8%	
不明	35	4.5%	46	3.8%	
計	771	100.0%	1205	100.0%	

結果（概要）

・10月から5か月連続して、本年度の相談件数（前年度781件）及び延べ回数（前年度1,516回）ともに前年度を下回った。

・1回の相談で終わるケースが多く、延べ回数は前年度の17.5%減の82.5%であった。

・子どもからの相談は「子どもに関することその他」の相談が1月の38.4%から39.8%と微増。「テストの点をとらないと進級できないかもしれないがどうしたらよいか」などの相談が増加した。また、「人間関係に疲れてしまった」など疲れを訴える相談も増加した。

・大人からの相談も「学校に行けない状況が続き、進級できないかもしれない」「進路変更を考えた方がよいか」などの相談が増加した。